

筑波山（薬王院コース）

【山行日】 2014年9月20日

【集合場所】 結城市鹿窪運動公園駐車場 7:00

【交通・費用】 車2台、500円

【メンバー】 CL 仙石、阿部マ、阿部日、大町、梶内、清水カ、清水ケ、前沢、塚原、山田

【コースタイム】

結城市鹿窪運動公園駐車場 7:00＝つくしこ調整池駐車場＝薬王院駐車場 8:00～20—

薬王院参拝—林道 9:25～30—男体山自然研究路分岐 10:32—男体山 11:07～13—

御幸ヶ原 11:27～32—昼食広場 11:37～12:22—御幸ヶ原—自然研究路—分岐 12:42～47—

林道 13:30～35—薬王院駐車場 14:10＝宮山ふるさとふれあい公園—結城市鹿窪運動公園 15:30

筑波山と言えば表側？の筑波山神社やつつじヶ丘からのルートは何回も登っている。つくばEXPの開通に伴い多くのハイカーで賑わっている。でも、そのほかのルートは静かなハイキングが楽しめる。春には北面の筑波高原キャンプ場から登り、カタクリやニリンソウの群落を楽しんだ。西からの薬王院コースはまだ登っていなかった。樹齢500年を超すスダジイの樹叢に覆われているようだ。

小山・結城から東に向かうとのことで、今回初めて結城市の鹿窪運動公園駐車場に集合・出発とした。わかりやすいところだが駐車場が何カ所にも分散しているので、戸惑った人もいたようだ。

出発から筑波山がすぐそこにそびえていて、みるみる大きくなって、桜川市真壁町、筑波山の西麓に入ってゆく。とりあえず、登山前に用を足すため、つくしこ調整池の駐車場に寄る。薬王院はここから参道を少し登ると着く。40台位停まれそうな大きい駐車場がある。

ここは、正式には椎尾山薬王院といい、延暦元年（782年）最仙上人の開山によるとある。1,200年の歴史を持つ、薬師如来を本尊とする天台宗の古刹だそうだ。病氣平癒に御利益があるとのことで近隣の信仰を集めているとのことである。江戸時代中頃の建物である薬師堂、三重の塔、仁王門は県の文化財に指定されている。

薬師様を参拝し、うっそうとしたスダジイの森の中に入ってゆく。杉の植林を過ぎても濃い樹林の中に道が続いている。1時間ほどで林道に出るので一本立てる。この林道は北面を走り筑波高原キャンプ場にも続いている。

林道を過ぎると次第にきつい登りとなってくる。そしてこの登山道の特徴である急勾配の階段にさしかかる。延々とほぼ直登するように続く階段である。一段一段歩みを進める。果たして何段あるのだろうか？ 九十九折りの階段になるとようやく階段も終わりとなる。

710mのピークを巻いて尾根道をゆっくりと登ると男体山自然研究路の分岐へ出る。自然研究路はコンクリートで舗装されているが、斜面側に傾いており少し歩きにくい。南西端に展望台があり、眼下に稲刈りの進んでいる田んぼがよく見える。ここから研究路を離れ、男体山に尾根を直登する。山頂からは急に登山客が多くなる。人混みの中の（？）御幸ヶ原からちょっと女体山側の小さな広場で昼食となる。いつもながらのごちそうのやりとりである。ゆっくり



とできた。

下山は、自然研究路の東側を通り、分岐にでる。急な階段を慎重に下り、薬王院へ。

今回は、先日の講習会でのダブルストックの使い方の実践をした方が何人かおられた。ダブルストックの扱いがちょっとなれないけれど、体の中心がブレず楽かもしれないとの感想であった。

帰りには、皆さんお目当ての農産物直売所。宮山ふるさとふれあい公園の直売所だ。お彼岸のお花、新鮮な野菜、結構皆さんお買い求めになったようでした。 (仙石)